

「治山林道留意事項の一部改正について」新旧対照表

新

旧

# 治山林道事業留意事項

令和4年7月

高知県林業振興・環境部 治山林道課

# 治山林道事業留意事項

令和3年10月

高知県林業振興・環境部 治山林道課

## 共通事項

### 1. 設計歩掛適用基準

(1) ～ (5) (略)

#### (6) 市場単価・土木工事標準単価

##### 1. 定義

市場単価方式とは、工事を構成する一部または全部の工種について、歩掛を用いず「材料費、労務費及び直接経費（機械経費等）を含む施工単位当たりの市場での取引価格」を把握し、直接積算に利用する方法である。

ここで、市場での取引価格とは、元請負業者による直接施工に代わり、下請の専門業者による施工が一般的になっている工種についての元請、下請間の取引市場において形成された直接工事費に相当する価格を言う。

土木工事標準単価は、標準的な工法による施工単位当たりの工事費で、工事業者の施工実績に基づき、調査により得られた材料費、歩掛等によって算定した価格である。

##### 2. (略)

##### 3. 適用にあたっての留意事項

適用単価における建設物価の市場単価欄を熟知のうえ、内容に合致した工種について適用すること。ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。

また、市場単価から土木工事標準単価へ移行した工種については当該単価にて積算を行うものとする。ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。

## 共通事項

### 1. 設計歩掛適用基準

(1) ～ (5) (略)

#### (6) 市場単価

##### 1. 定義

市場単価方式とは、工事を構成する一部または全部の工種について、歩掛を用いず「材料費、労務費及び直接経費（機械経費等）を含む施工単位当たりの市場での取引価格」を把握し、直接積算に利用する方法である。

ここで、市場での取引価格とは、元請負業者による直接施工に代わり、下請の専門業者による施工が一般的になっている工種についての元請、下請間の取引市場において形成された直接工事費に相当する価格を言う。

(追記)

##### 2. (略)

##### 3. 適用にあたっての留意事項

適用単価における建設物価の市場単価欄を熟知のうえ、内容に合致した工種について適用すること。ただし、山林砂防工を適用する箇所には適用しない。

また、市場単価から土木工事標準単価へ移行した工種については当該単価にて積算を行うものとする。

4. (略)

(7) ~ (16) (略)

2 (略)

### 3. 参考資料

1. (略)

#### 2. 高知県内観測所の平年値（年平均気温、年降水量）及び極値

（日降水量・日最大1時間降水量・年降水量の多い値・年降水量の少ない値・日最高気温の高い値・日最低気温の低い値）

注) ① 最小位数及び単位は気温が0.1℃、降水量が0.5mmで、日界は24時です。(気象庁HP参照)

② 鳥形山・南国日章・三崎は年間運用が30年に満たない観測所だが、①欠測または資料不足値の年の合計が、統計期間（データが存在する最初と最後の間の期間とする）の年数の20%以下であること。②資料年数（統計値のある年数）が8年以上あること、のいずれの条件も満たす観測所であるため、平年値を記載している。

4. (略)

(7) ~ (16) (略)

2 (略)

### 3. 参考資料

1. (略)

#### 2. 高知県内観測所の平年値（年平均気温、年降水量）及び極値

（日降水量・日最大1時間降水量・年降水量の多い値・年降水量の少ない値・日最高気温の高い値・日最低気温の低い値）


注) ① 最小位数及び単位は気温が0.1℃、降水量が0.5mmで、日界は24時です。(気象庁HP参照)


② 鳥形山・南国日章・三崎は年間運用が30年に満たないため、年降水量の平年値はありません。(鳥形山は2010年まで用が4月頃から11月頃までとなり年間運用がされておられません。)

高知県内観測所の降水量(mm)平年値及び極値

	平年値	極 値										
	年降水量 (mm)	日降水量			日最大1時間降水量			年降水量の多い値		年降水量の少ない値		統計開始年
		(mm)	起年月日	統計開始年	(mm)	起年月日	統計開始年	(mm)	起年	(mm)	起年	
本 川	3184.2	713	2005.9.6	1979	85.5	2013.9.4	1979	5714	2004	2096	1996	1979
本 山	2892.3	510.5	2018.7.6	1976	102	1983.9.28	1976	4747	2004	1754	1994	1976
池 川	3016.4	644	2005.9.6	1977	96	2013.9.4	1977	4789	2004	1915	1996	1977
繁 藤	3387.5	735	1998.9.24	1976	110	2004.8.1	1976	5081	1998	2002	1994	1976
大 橋	2981.9	378	2018.7.5	1977	87.5	2017.7.1	1977	4584	2018	1787	1994	1977
魚梁瀬	4484.0	851.5	2011.7.19	1978	114	1995.7.21	1978	7194.5	2018	2598	1996	1978
佐 川	3030.6	491.5	2014.8.3	1976	86	1976.9.8	1976	4699	2004	1890	1996	1976
高 知	2666.4	628.5	1998.9.24	1886	129.5	1998.9.24	1937	4383	1998	1543.6	1930	1886
後 免	2359.1	584	1998.9.24	1978	119	1998.9.24	1978	3765	1998	1598	1994	1978
南国日章	2238.3	238	2004.10.20	2003	102	2006.9.6	2003	2811	2012	1615	2017	2003
鳥形山	4332.4	545.5	2014.8.2	1976	80.5	2017.9.17	1976	5544.5	2018	1750	1981	1976
船 戸	3565.6	595	2005.9.6	1976	95	2009.8.10	1976	6624	1999	1855	1996	1976
安 芸	2099.5	292.5	2008.6.29	1976	83	2008.6.29	1976	2906	2012	1349	1996	1976
田 野	2078.2	367	2011.7.19	1976	92	2018.9.4	1976	2937	2012	1256	1984	1976
梶 原	2728.7	482	2005.9.6	1976	83	1989.9.19	1976	4264	1999	1713	1978	1976
須 崎	2780.2	363	2015.9.24	1976	126	1998.9.24	1976	3775	2014	1675	1996	1976
佐喜浜	3540.9	479	2003.11.28	1976	133	2005.10.7	1976	5068	2012	2386	2005	1976
窪 川	3251.0	462	2007.7.14	1976	91	2004.8.1	1976	4697.5	2014	2059	2005	1976
室戸岬	2465.0	446.3	1949.7.5	1920	149	2006.11.26	1925	3537	2016	1584.5	2005	1920
江川崎	2423.7	437	2005.9.6	1977	80	2004.8.1	1977	3422	1999	1378	1978	1977
大 正	2865.2	456	1992.8.18	1976	88	2004.9.16	1976	4085	2014	1723	1996	1976
佐 賀	2812.9	429	1998.6.24	1977	89.5	2019.7.18	1977	3959	1998	1803	1995	1977
宿 毛	2093.1	379.5	2014.8.9	1943	108	2018.7.8	1943	2944.5	2018	1317.9	1947	1943
中 村	2877.9	395	2014.6.4	1976	117	2004.8.2	1976	3950	2018	1779	1995	1976
三 崎	2834.8	464	2014.6.4	2005	103	2015.8.29	2005	3444	2012	1892	2013	2005
清 水	2563.9	421	1980.8.4	1940	150	1944.10.17	1940	3674.0	1990	1498	1995	1940

高知県内観測所の降水量(mm)平年値及び極値

	平年値	極 値										
	年降水量 (mm)	日降水量			日最大1時間降水量			年降水量の多い値		年降水量の少ない値		統計開始年
		(mm)	起年月日	統計開始年	(mm)	起年月日	統計開始年	(mm)	起年	(mm)	起年	
本 川	3184.2	713	2005.9.6	1979	85.5	2013.9.4	1979	5714	2004	2096	1996	1979
本 山	2892.3	510.5	2018.7.6	1976	102	1983.9.28	1976	4747	2004	1754	1994	1976
池 川	3016.4	644	2005.9.6	1977	96	2013.9.4	1977	4789	2004	1915	1996	1977
繁 藤	3387.5	735	1998.9.24	1976	110	2004.8.1	1976	5081	1998	2002	1994	1976
大 橋	2981.9	378	2018.7.5	1977	87.5	2017.7.1	1977	4584	2018	1787	1994	1977
魚梁瀬	4484.0	851.5	2011.7.19	1978	114	1995.7.21	1978	7194.5	2018	2598	1996	1978
佐 川	3030.6	491.5	2014.8.3	1976	86	1976.9.8	1976	4699	2004	1890	1996	1976
高 知	2666.4	628.5	1998.9.24	1886	129.5	1998.9.24	1937	4383	1998	1543.6	1930	1886
後 免	2359.1	584	1998.9.24	1978	119	1998.9.24	1978	3765	1998	1598	1994	1978
南国日章		238	2004.10.20	2003	102	2006.9.6	2003	2811	2012	1615	2017	2003
鳥形山		545.5	2014.8.2	1976	80.5	2017.9.17	1976	5544.5	2018	1750	1981	1976
船 戸	3565.6	595	2005.9.6	1976	95	2009.8.10	1976	6624	1999	1855	1996	1976
安 芸	2099.5	292.5	2008.6.29	1976	83	2008.6.29	1976	2906	2012	1349	1996	1976
田 野	2078.2	367	2011.7.19	1976	92	2018.9.4	1976	2937	2012	1256	1984	1976
梶 原	2728.7	482	2005.9.6	1976	83	1989.9.19	1976	4264	1999	1713	1978	1976
須 崎	2780.2	363	2015.9.24	1976	126	1998.9.24	1976	3775	2014	1675	1996	1976
佐喜浜	3540.9	479	2003.11.28	1976	133	2005.10.7	1976	5068	2012	2386	2005	1976
窪 川	3251.0	462	2007.7.14	1976	91	2004.8.1	1976	4697.5	2014	2059	2005	1976
室戸岬	2465.0	446.3	1949.7.5	1920	149	2006.11.26	1925	3537	2016	1584.5	2005	1920
江川崎	2423.7	437	2005.9.6	1977	80	2004.8.1	1977	3422	1999	1378	1978	1977
大 正	2865.2	456	1992.8.18	1976	88	2004.9.16	1976	4085	2014	1723	1996	1976
佐 賀	2812.9	429	1998.6.24	1977	89.5	2019.7.18	1977	3959	1998	1803	1995	1977
宿 毛	2093.1	379.5	2014.8.9	1943	108	2018.7.8	1943	2944.5	2018	1317.9	1947	1943
中 村	2877.9	395	2014.6.4	1976	117	2004.8.2	1976	3950	2018	1779	1995	1976
三 崎		464	2014.6.4	2005	103	2015.8.29	2005	3444	2012	1892	2013	2005
清 水	2563.9	421	1980.8.4	1940	150	1944.10.17	1940	3674.0	1990	1498	1995	1940

 資料なし・資料不足値

(削除)

高知県内観測所の気温(°C)平年値及び極値

	平年値 年平均気温 (°C)	極 値					
		日最高気温の高い値			日最低気温の低い値		
		(°C)	起年月日	統計開始年	(°C)	起年月日	統計開始年
本川	12.2	36.5	1994. 7. 11	1979	-10.8	1985. 1. 15	1979
本山	14.2	38.1	2007. 7. 28	1977	-8.9	2011. 1. 16	1977
大柘	15.2	37.7	2013. 8. 11	1977	-7.2	1986. 1. 6	1977
高知	17.3	38.4	1965. 8. 22	1886	-7.9	1977. 2. 17	1886
後免	16.6	36.3	2007. 9. 6	1978	-7.9	1984. 2. 8	1978
南国日章	17.0	38.3	2004. 7. 30	2003	-7.5	2011. 1. 31	2003
安芸	17.4	36.5	2016. 8. 21	1977	-6.7	1981. 2. 26	1977
梶原	13.4	38.7	2013. 8. 12	1977	-12.0	1981. 1. 1	1977
須崎	16.8	39.3	2006. 8. 8	1977	-5.7	1981. 2. 26	1977
窪川	15.0	38.8	2013. 8. 11	1977	-8.9	1999. 2. 4	1977
室戸岬	16.9	35.0	1942. 7. 30	1951	-6.6	1981. 2. 26	1951
江川崎	15.7	41.0	2013. 8. 12	1977	-7.0	2018. 2. 8	1977
佐賀	16.6	38.6	2013. 7. 25	1977	-7.3	1981. 2. 27	1977
宿毛	17.2	38.0	1966. 8. 7	1943	-5.3	1981. 2. 27	1943
中村	16.5	39.7	2005. 8. 10	1976	-10.4	1977. 2. 18	1976
清水	18.4	35.5	1942. 7. 30	1940	-5.0	1981. 2. 26	1940

高知県内観測所の気温(°C)平年値及び極値

	平年値 年平均気温 (°C)	極 値					
		日最高気温の高い値			日最低気温の低い値		
		(°C)	起年月日	統計開始年	(°C)	起年月日	統計開始年
本川	12.2	36.5	1994. 7. 11	1979	-10.8	1985. 1. 15	1979
本山	14.2	38.1	2007. 7. 28	1977	-8.9	2011. 1. 16	1977
大柘	15.2	37.7	2013. 8. 11	1977	-7.2	1986. 1. 6	1977
高知	17.3	38.4	1965. 8. 22	1886	-7.9	1977. 2. 17	1886
後免	16.6	36.3	2007. 9. 6	1978	-7.9	1984. 2. 8	1978
南国日章		38.3	2004. 7. 30	2003	-7.5	2011. 1. 31	2003
安芸	17.4	36.5	2016. 8. 21	1977	-6.7	1981. 2. 26	1977
梶原	13.4	38.7	2013. 8. 12	1977	-12.0	1981. 1. 1	1977
須崎	16.8	39.3	2006. 8. 8	1977	-5.7	1981. 2. 26	1977
窪川	15.0	38.8	2013. 8. 11	1977	-8.9	1999. 2. 4	1977
室戸岬	16.9	35.0	1942. 7. 30	1951	-6.6	1981. 2. 26	1951
江川崎	15.7	41.0	2013. 8. 12	1977	-7.0	2018. 2. 8	1977
佐賀	16.6	38.6	2013. 7. 25	1977	-7.3	1981. 2. 27	1977
宿毛	17.2	38.0	1966. 8. 7	1943	-5.3	1981. 2. 27	1943
中村	16.5	39.7	2005. 8. 10	1976	-10.4	1977. 2. 18	1976
清水	18.4	35.5	1942. 7. 30	1940	-5.0	1981. 2. 26	1940

## 治山事業

### 1. 治山設計歩掛適用基準

1 (略)

### 2 治山工事諸経費適用基準

諸経費 工種区分	職 種	共通仮設費・現場管理費 一般管理費の適用事業	備 考
治山工事 地すべり防止 工事	普通 作業員 山林 砂防工	山地治山事業 <u>流域保全総合治山等</u> 事業 (森林整備除く) 地すべり防止事業	
海岸工事	普通 作業員	防災林造成事業	
森林整備 A	普通 作業員	土木工事と併せて行う森林整備工 事で土木的工事の費用の割合が2 0%以上の場合 樹高1.5m以上の苗木の植栽費 が50%以上の場合	森林組合連 合会又は、森

## 治山事業

### 1. 治山設計歩掛適用基準

1 (略)

### 2 治山工事諸経費適用基準

諸経費 工種区分	職 種	共通仮設費・現場管理費 一般管理費の適用事業	備 考
治山工事 地すべり防止 工事	普通 作業員 山林 砂防工	山地治山事業 <u>水源地域整備</u> 事業 (森林整備除く) 地すべり防止事業	
海岸工事	普通 作業員	防災林造成事業	
森林整備 A	普通 作業員	土木工事と併せて行う森林整備工 事で土木的工事の費用の割合が2 0%以上の場合 樹高1.5m以上の苗木の植栽費 が50%以上の場合	森林組合連 合会又は、森

		航空実播工 種子吹付工	林組合と随 意契約を行 う場合は一 般管理費を 5%減とす る。
森林整備 B	森林 作業員 特殊 作業員	保安林整備 治山植栽等でA以外の森林整備	
道路工事 (管理道開設工 事)	普通 作業員	保安林管理道整備及び 管理車道の開設、改良	

		航空実播工 種子吹付工	林組合と随 意契約を行 う場合は一 般管理費を 5%減とす る。
森林整備 B	森林 作業員 特殊 作業員	保安林整備 治山植栽等でA以外の森林整備	
道路工事 (管理道開設工 事)	普通 作業員	保安林管理道整備及び 管理車道の開設、改良	

### 3 治山工事における植栽について

森林整備保全事業標準歩掛の植栽歩掛については、溪間工、山腹工のどちらも植栽（B）を使用して積算する。ただし、「山林砂防工」を適用する箇所であっても「普通作業員」に替えて適用する。（事務連絡 平成22年8月12日通知）

また、諸経費については必携のとおりとする。

### 4 (略)

### 5 栗石工等

#### 1 礫等の取扱いについて

① 礫石は現場の礫量、作業条件、現場整地の必要性等を考慮し、できるだけ現地採取礫を使用する。ただし、現場に適切な礫がない場合はこの限りではない。

② 湧水部、冠水部以外の場所で裏込土（盛土）が礫と同程度の土質である

### 3 治山工事における植栽について

森林整備必携の植栽歩掛に（A）、（B）区分があるが、溪間工、山腹工のどちらも植栽（B）を使用して積算する。ただし、「山林砂防工」を適用する箇所であっても「普通作業員」に替えて適用する。（事務連絡 平成22年8月12日通知）

又、諸経費については必携のとおりとする。

### 4 (略)

### 5 栗石工等

#### 1 礫等の取扱いについて

① 礫石は現場の礫量、作業条件、現場整地の必要性等を考慮し、できるだけ現地採取礫を使用する。ただし、現場に適切な礫がない場合はこの限りではない。

② 湧水部、冠水部以外の場所で裏込土（盛土）が礫と同程度の土質である

場合は裏込礫を省略する。

- ③ 裏込礫・基礎礫は、原則として「かきこみ、敷均し」を使用する。  
ただし、流路工・水路工等で機械施工が妥当ではない箇所等で敷並べが必要な場合は、人力施工の敷並べを計上すること。
- ④ 築立て
- 1) 裏込礫を裏型枠の代わりに使用する場合。
  - 2) 背面は湧水等があり、裏込礫の裏面に目詰り防止材を張る必要がある場合。
  - 3) その他現場の条件により、必要がある場合に限って使用する。
- ⑤ 裏込礫の運搬については、割増分についても運搬する。

2～5 (略)

6～10 (略)

2～4 (略)

場合は裏込礫を省略する。

- ③ 裏込礫・基礎礫は、原則として「かきこみ、敷均し」を使用する。  
(追記)
- ④ 築立て
- 4) 裏込礫を裏型枠の代わりに使用する場合。
  - 5) 背面は湧水等があり、裏込礫の裏面に目詰り防止材を張る必要がある場合。
  - 6) その他現場の条件により、必要がある場合に限って使用する。
- ⑤ 裏込礫の運搬については、割増分についても運搬する。

2～5 (略)

6～10 (略)

2～4 (略)



## 5. 土留工・護岸工

### 1～5 (略)

#### 6 小型鋼製枠工 (土留工、護岸工等)

土留工において小型鋼製枠工の使用を検討する場合は、下記の点に留意すること。

- ・小型鋼製枠工による土留工の適用範囲は原則、高さ 2.00m 以下を目安とする。(地山タイプに限る)
- ・小型鋼製枠工の控幅については安定計算及び経済比較のうえ、0.8m もしくは 1.2m のいずれかの断面を使用することとする。

小型鋼製枠を施工する場合は、下記に留意し施工すること。

- ① 中詰材が栗石の場合：背面、下面、側面に吸出防止材を設置する。
  - ② 詰石と土砂を併用する場合：上記以外に詰石と土砂の境にも吸出防止材を設置する。
- ※中詰材に石材を使用する場合は原則吸出し防止材を設置することとし、材料費については別途計上すること。
- ③ 中詰材が土砂の場合：前面、天端面、底面巻込み部に植生シートを設置する。
  - ④ 中詰石の規格は、現地採取の場合 15～30 cm、購入の場合は詰石 15～20cm を標準とする。

### 6・7 (略)

## 5. 土留工・護岸工

### 1～5 (略)

#### 6 小型鋼製枠工 (土留工、護岸工等)

土留工において小型鋼製枠工の使用を検討する場合は、下記の点に留意すること。

- ・小型鋼製枠工による土留工の適用範囲は原則、高さ 2.00m 以下を目安とする。(地山タイプに限る)
- ・小型鋼製枠工の控幅については安定計算及び経済比較のうえ、0.8m もしくは 1.2m のいずれかの断面を使用することとする。

小型鋼製枠を施工する場合は、下記に留意し施工すること。

- ① 中詰材が栗石の場合：裏面 (垂直面のみ)に吸出防止材を設置する。
  - ② 詰石と土砂を併用する場合：詰石と土砂の境に吸出防止材を設置する。
- ※中詰材に石材を使用する場合は原則吸出し防止材を設置することとし、材料費については別途計上すること。
- ③ 中詰材が土砂の場合：前面、天端面、底面巻込み部に植生シートを設置する。
  - ④ 中詰石の規格は、現地採取の場合 15～30 cm、購入の場合は詰石 15～20cm を標準とする。

### 6・7 (略)

## 8. 森林整備

### 1～5 (略)

#### 6 その他

- 1) チェーンソーの使用時間は、一人1日2時間以内とする。  
また、作業の組み合わせを工夫して、連続作業時間を10分以内にするこ  
と。 (労働安全衛生規則による)
- 2) 列状間伐について、林内照度の確保という観点からは問題ないため、列状  
間伐も認めることとする。ただし、森林所有者の同意を得ておくこと。
- 3) 伐採する切り株の高さは、0.30m以内とするが伐倒木の安定・表土の  
流出防止の観点から、切り株を止め杭がわりに使用するような場合は、1.  
0m以内まで認めることができるとする。
- 4) 治山事業森林使用承諾書(複層林施業タイプ)、治山事業森林使用承諾書  
(長伐期施業タイプ)、複層林施業協定書、複層林施業協定の運用及び長  
伐期施業協定書については、高知県森林土木事業実施要綱の様式を使用す  
ること。

(削除)

(削除)

(削除)

(削除)

(削除)

#### 7 本数調整伐設計表 (18高森整第412号 平成18年7月5日)

設計図書として設計書へ様式を添付すること。(平成18年度事業から適用)

様式

(以下略)

## 8. 森林整備

### 1～5 (略)

#### 6 その他

- 1) チェーンソーの使用時間は一人1日2時間とする。(労働安全衛生規則に  
よる)
- 2) 列状間伐について、林内照度の確保という観点からは問題ないため、列状  
間伐も認めることとする。ただし、森林所有者の同意を得ておくこと。
- 3) 伐採する切り株の高さは、0.30m以内とするが伐倒木の安定・表土の  
流出防止の観点から、切り株を止め杭がわりに使用するような場合は、1.  
0m以内まで認めることができるとする。

(追記)

様式1 治山事業森林使用承諾書(複層林施業タイプ)

様式2 複層林施業協定書

様式3 複層林施業協定の運用

様式4 治山事業森林使用承諾書(長伐期施業タイプ)

様式5 長伐期施業協定書

#### 7 本数調整伐設計表 (18高森整第412号 平成18年7月5日)

設計図書として設計書へ様式6添付すること。(平成18年度事業から適用)

様式6

(以下略)

9~10 (略)

9~10 (略)

## 林道事業

1 (略)

## 2 設計積算の留意事項

(1) ~ (3) (略)

(4) ① (略)

②植生工の発芽状況、生育判定の確認については、「森林土木工事における植生工の取扱いについて」([令和3年7月28日付け3高知林第309号](#))により報告すること。

(5) 略

3 ~ 12 (略)

## 林道事業

1 (略)

## 2 設計積算の留意事項

(1) ~ (3) (略)

(4) ① (略)

②植生工の発芽状況、生育判定の確認については、「森林土木工事における植生工の取扱いについて」([平成31年3月28日付け30高治林第1683号](#))により報告すること。

(5) 略

3 ~ 12 (略)

## 施工パッケージ型積算方式

### 1. 総則

(1) (略)

(2) 施工パッケージ型積算方式における各種補正等の取り扱い

#### いについて

1. (略)

2. 補正について

補正適用工事では、労務単価（当該年月における積算地区単価）に対し、補正係数を乗じ、積算単価を算出するものとする。

### 2. 土工

(1) (略)

(2) 治山事業の土工へのパッケージ適用について

山地治山土工は、森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式試行実施要領第4-2-(1)に注記がある場合（小規模土工）を除き、森林整備保全事業標準歩掛を用いて積上方式により積算するものとする。

3・4 (略)

## 施工パッケージ型積算方式

### 1. 総則

(1) (略)

(2) 施工パッケージ型積算方式における各種補正等の取り扱い

#### いについて

1. (略)

2. 通勤補正について

通勤補正適用工事では、労務単価（当該年月における積算地区単価）に対し、補正係数を乗じ、積算単価を算出するものとする。

### 2. 土工

(1) (略)

(2) 治山事業の土工へのパッケージ適用について

治山事業に関しては一般土工による積算に該当する場合のみ施工パッケージ型積算方式を適用することとする。また、森林整備保全事業標準歩掛内の山地治山土工において、歩掛が一般土工に準じると明記されているもの（小規模土工等）についても施工パッケージ型積算方式を適用しない。

3・4 (略)

参考資料（略）

参考資料（略）